



# 魚沼市まちづくり委員会だより



## 「魚沼市まちづくり市民会議」の開催

6月11日に魚沼市まちづくり委員会の平成23年度第1回魚沼市まちづくり市民会議（総会）が広神コミュニティセンターで開催されました。初めに、魚沼市民憲章を広神中学校の仲丸航平さんが元気に読み上げ、参加者全員での唱和で市民会議が開始されました。

平井会長と大平市長の挨拶をいただき、続いて関副会長より平成22年度事業報告・平成23年度事業計画が発表されました。その後、まちづくり委員会の四部会から活動報告・活動方針・まちづくりの提案を報告しました。

この各部会の提案を提言書として取りまとめ、平井会長から大平市長へ提言しました。



大平市長へ提言書の手渡し

### まちづくり委員会 各部会提案一覧表

部会	テーマ	部会	テーマ
生活自然環境	1 草花いっぱい運動の全市展開	福祉健康	1 交通弱者のための交通手段の確保と整備
	2 クリーン作戦の実施		2 地域医療への新しい市民参画
	3 生活自然環境に対する先進事例等の視察・学習		3 市民の健康づくり推進
	4 有機センター・コンポストを活用した生ごみの堆肥化	地域産業	1 雪中貯蔵食品の開発促進
	5 安全とエコを考慮した道路・歩道の整備		2 魚沼の名人・達人のデータベース化
	6 地域のコミュニティ強化への取組み	教育文化	3 地域ブランド認証機関の立上げ
			1 伝統文化を継承する運動
			2 うおぬま寺子屋の創出



ワールドカフェ方式による意見交換風景

後半は、ワールドカフェ方式による意見交換を行いました。このワールドカフェ方式は、4人1組程度で時間を区切り、メンバーが入れ替わりながら意見交換を行う方法で、従来のワークショップとは違い、意見交換の後何らかの形にまとめあげ導き出す必要はなく、意見を言い話す事に重きを置いた方法です。

全体ファシリテーターとして吉崎利生講師をお招きして四部会からの提案をテーマとして話し合われました。多くの意見・アイデア・気づきがあり、成果のある会となりました。最後に、各テーブルの結果を貼り出し発表した後で、吉崎講師を囲んでの話に場がはずみました。



# 魚沼市まちづくり委員会とは

～まちづくり委員会だよりの発行にあたって～

魚沼市まちづくり委員会 会長 平井 正尚

魚沼市まちづくり委員会が設立されたのは平成20年2月のことです。そもそも、この委員会は今から10年前の平成13年9月に設置された当時の「北魚沼郡合併ビジョン策定検討委員会」で新たなまちづくりの運営のシステムの一つとして提案されたものです。

時代は常に変化し続け、市民のニーズは多様化しています。

魚沼市は「パートナーシップで創る参画と自立のまちづくり」を目標に掲げ、行政はそれに応えるべく官民協働で施策を講じよう努めています。



▲まちづくり市民会議の様子

▶ 親睦を深める機会もあります。



もうすぐ合併して7年が経過しますが、行財政改革が進めば進むほど市民は自立し、行政依存の体質を変えて行かなければなりません。サッカーに例えて言うならば、市民一人ひとりが起点となって細かくパスをつなぎ、多くの皆さんのが連携を取って目標に向かってシュートしていく必要があると思います。まちづくり委員会は限られた委員だけの会ではなく、市民全員が委員です。どうぞ、皆さんの知恵やパワーをこれからまちづくりに生かしていただき、市民憲章にもあるように「ささえあい助けあう楽しいまち」にしていきましょう。

## 部会の活動状況

### 生活自然環境部会

私たち部会は、提案書で6項目の提案を行いましたが、今年は、その中から「草花いっぱい運動の全市展開」「クリーン作戦の実施」「生活自然環境に対する先進事例等の視察・学習」を中心に活動していきます。また、「有機センター・コンポストを活用した生ごみの堆肥化」については、これを実現できた場合の効果は大きいと思いますが、解決しなければならない諸問題も多く、関係個所と協議を重ねて行きたいと思っています。

最後に部会の予定は下記の通りですので、皆様も気軽に参加してください。

- 学習会　日時：10月12日（水）19：00～ 場所：小出ボランティアセンター  
「魚沼の自然について」
- 施設見学　日時：11月26日（土）午後予定　場所：魚沼市有機センター
- 実践活動　「草花いっぱい運動の全市展開」　日時・場所：詳細検討中



▲緑のカーテンの推進

### 福祉健康部会

私たち福祉健康部会は市民の皆様とともに住民も環境も健康であるためには、どんなアイデアがあってどんな資源があって、どんな人材があってどんな感動を共有できるのか模索しながら楽しんで自分たちの持てるパワーを出し合い、「福祉健康」をテーマにしながら毎月1回ペースで会合を持っています。

例えば今年度、福祉の部「今後の交通弱者のための提案」地域医療の部「地域医療への新しい市民参画の提案」などを

★★★ キラリ福祉健康部会 ★★★



▲福祉健康部会 学習会（講師：上村伯人医師）

提案書としてまとめ、まちづくり委員会として市へ提言いたしました。

このように、行政と市民の協働でつくりあげた市民憲章の下、自然に恵まれた魚沼市で暮らす私たちが避けて通れない、これから少子高齢化社会を迎えるにしても、より「健康感」をもって暮らしていくことを願ってこれからも活動してまいります。

一緒に活動していただける若いパワーもお待ちしています。

いぶし銀の練り上げたパワーもお待ちしています。

私たち人間はいつも何かに「ときめき」を持ち続けたいと思っています。ときめく「福祉健康部会」になるようさまざまな情報、さまざまなアイデア、マンパワーをお待ちしています。

## 地域産業部会

わが部会では「農業」「食品加工」「観光」というこの地域を代表する3つのテーマで進めてきました。部会には、一般の方はもとより、各種団体のメンバーも在籍しており、偏りがちな意見の中にも、いろんな角度から意見が出されています。

今は、特に次の3点を中心に進めています。

1. 雪中貯蔵食品の開発促進
2. 魚沼の名人、達人のデータベース化
3. 地域ブランド認証機関の立上げ

これらを、実践的な活動に向けて会議を進めています。

部会は、毎月原則第3水曜日19:30~小出庁舎3Fで行っています。興味のある方、良い意見をお持ちの方は、気軽にご参加ください。

第2回全体会「ご当地グルメで元気なまちを」  
B級グルメチャンピオン 横手焼きそばの実食  
(平成23年2月27日 於:魚沼市地域振興センター)



▲対抗出来る魚沼のB級グルメは???

## 教育文化部会



▲さいの神

教育文化部会は、現在部会員31名、定例会を毎月1回ペースで開催しています。

平成22年度の1年間では、魚沼市の教育文化の現状や教育システムを勉強し、多くの意見を交わし、そのまとめを「魚沼市まちづくり市民会議」での提案としました。内容は、

### ①伝統文化を継承する運動

〔魚沼市の休日（小正月1月15日）を定め伝統行事を定着〕

〔うおぬま寺小屋の創出〔地域コミュニティ教育のしくみづくり〕〕

という提案です。今後、実現に向けて検討を進めます。

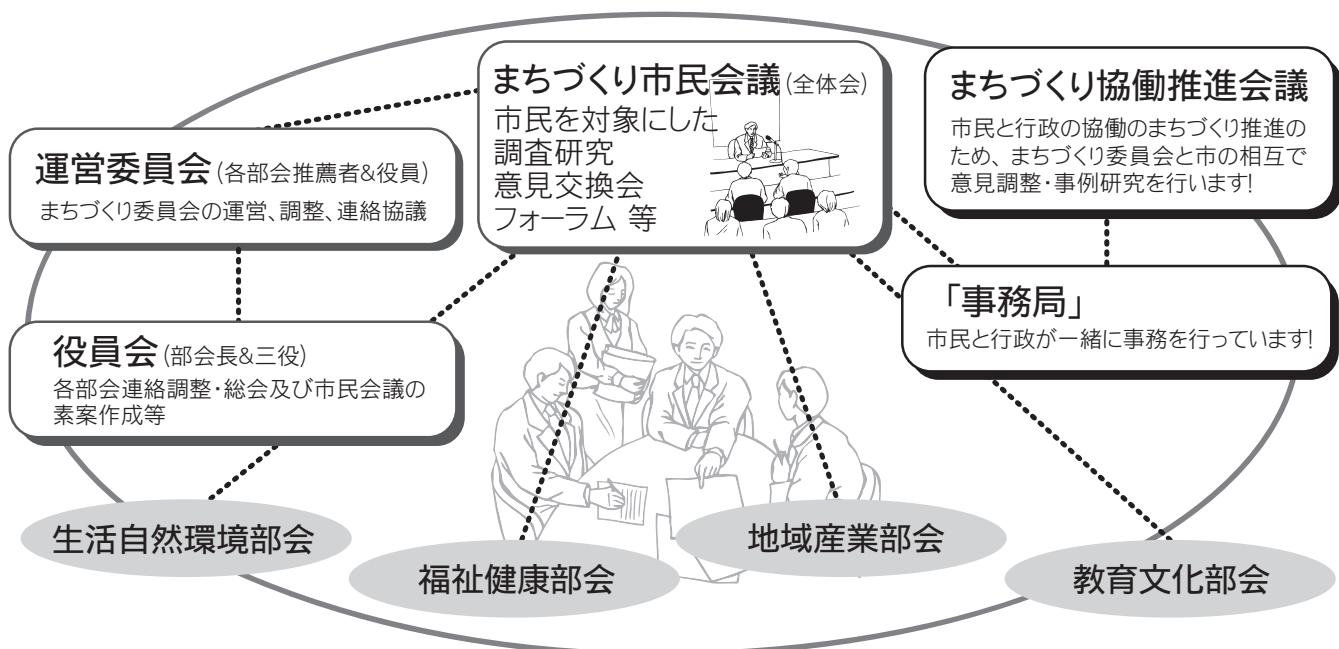
今年、平成23年度はこの提案を目標とし、少しでも実現に近づけるために学習し活動する年と部会では考えています。

ごく最近の部会では、「魚沼の伝統文化を学ぶ」勉強会&意見交換会をもち、部会員でもある山之内喜七さんを講師として小正月の定義など語ってもらいました。

今後も勉強会や意見交換を重ね、実りある活気にあふれた部会にしていきたいと考えています。



# 魚沼市まちづくり委員会 組織図



「第2回 魚沼市まちづくり市民会議」を開催します。どなたでも気軽にご参加ください。

とき 10月30日(日) 午後1時30分

ところ 魚沼市地域振興センター

テーマ 「防災について」(予定)



魚沼市まちづくり委員会の部会委員 隨時募集中

「あなたの意見がまちを変えます!!」

まちづくり委員会は限られた委員だけの会ではなく、市民全員が委員なのです。まちづくり委員会は、6町村が合併して出来上がった魚沼市を未来の子供たちのため、少しでも住み良いまちにするために「みなさまの意見とアクション」が必要です。

各部会の会合は毎月1回開催され、中立・公平の立場で議論し意見を出し合いワイワイガヤガヤで和気あいあいと話合いが行われています。また、まちづくり委員も解らない事が多く勉強会や視察等を行ったり、実践活動も実施していますので肩の力を抜いて気軽に参加してください。部会は公開です。参観もできます。

参加希望の方は、下記まで興味ある分野の部会にお申し込みください。

連絡先

魚沼市まちづくり室（魚沼市役所湯之谷庁舎）Tel 025-792-9752/Fax 025-793-1016

E-mail chiiki@city.uonuma.niigata.jp

まちづくり委員会ホームページ <http://www.machidukuri-uonuma.com>

## 編集後記

今年は、豪雪から始まり東日本大震災・東京電力福島原発からの放射能汚染・節電への取組み・7月新潟福島豪雨など次々と災害に見舞われ、大変な年になりました。家族の絆や地域との関わりなどについて改めて考えさせられると共に、一人ひとりが活動することが重要であると感じます。

この「まちづくり委員会だより」は、魚沼市民が魚沼市のまちづくりのための提案や実践活動に参加していただき、魚沼市をより住みやすい環境に改善するために魚沼市まちづくり委員会と市民を結ぶ架け橋となることを願い発行しています。

(記:まちづくり委員会だより編集長 森山右文)